

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024 年 12 月 31 日

事業所名: 多機能型事業所
放課後クラブびあ／療育ルームいろは

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 | | |
|--|--|----------|-----------|--------------------------------|--|-----------|-----|-------|------------------|---------------------------|---|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | | |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 5 | 6 | 0 | 共有が難しいときがあるので、時間ですらすらなど工夫している。 | 17 | 2 | 0 | 0 | 物理的構造化を用い、利用児の現状に合わせ調整する。 | |
| | 2 職員の適切な配置 | 4 | 7 | 0 | 利用時間が集中したり、キャンセルが多いときは余剰が出たりする。声かけやミーティングでカバーされている。 | 18 | 0 | 0 | 1 | 個別支援が継続できるように職員配置を増やす。 | |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備 | 11 | 0 | 0 | 一人一人に合ったスケジュールを準備し、遊びや活動場所が選べるように工夫している。 | 18 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 7 | 4 | 0 | 清潔を心がけてはいるが、暑さ等建物の都合で環境が調整できないときがある。 | 19 | 0 | 0 | 0 | | |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 10 | 1 | 0 | 月1、常勤職員はチャレンジシートに振り返りや次月の重点目標を記入している。 | | | | | | 非常勤職員も含めて、支援技術が向上するようアイデアを採用していく。 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 9 | 2 | 0 | 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会に外部委員さんに参加していただいている。 | | | | | | 外部委員さんからのアドバイスを全職員に報連相する。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 11 | 1 | 0 | 法人内研修や外部研修が計画的に行われている。 | | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか | 10 | 1 | 0 | 今年度始めて公表を行っている。 | 18 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 7 | 4 | 0 | 報連相をしっかりとるよう心がけている。 | 18 | 1 | 0 | 0 | | 個別支援計画のためのモニタリングに全職員がかかわるようにする。 |
| | 4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 11 | 0 | 0 | 子ども一人一人の最善の利益を考えて、集団活動を設定している。 | | | | | | |
| 適切な支援の提供(続き) | 5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 11 | 0 | 0 | 個別記録が計画のチェックリストになっている。 | 19 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 6 チーム全体での活動プログラムの立案 | 11 | 0 | 0 | 個別の活動プログラムをチームで検討、実施している。 | | | | | | |
| | 7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 10 | 1 | 0 | 日々の活動も内容や順番を調整し変化を持たせている。ルーチンにならないよう、新しい活動も取り入れている。 | 17 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 9 | 2 | 0 | 長期休暇は、季節行事を多く実施している。 | | | | | | |
| | 9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 11 | 0 | 0 | 毎日ミーティングを実施している。 | | | | | | |
| | 10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 5 | 5 | 1 | 全員でのミーティングはできないが、気になったこと、気づいたことはその日のうちに報連相するように心がけている。 | | | | | | 職員によって勤務時間が違うためを行うことができないので、特筆すべき事項は必ずその日のうちに報連相するよう周知する。 |
| | 11 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 11 | 0 | 0 | 記録の確認を毎日管理者が行っている。困難ケースは支援チームを構成し、頻回にミーティングを行っている。 | | | | | | |
| 12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 11 | 0 | 0 | 新規利用時は初回から約3か月、その後は半年ごとに行っている。 | | | | | | | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 | |
|--|---|----------|-----------|---------------------------|---|-----------|-----|-------|------------------|-----------------------------|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | |
| 関係機関との連携 | 1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画 | 11 | 0 | 0 | 管理者、児発管が担当している。 | | | | | |
| | 2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | | | | | | | | |
| | 3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | | | | | | | | |
| | 4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 9 | 2 | 0 | 就学時は引継ぎ資料を作成し、各関係機関と資料を共有している。 | | | | | |
| | 5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供 | 8 | 3 | 0 | 引き継ぎ書を作成し、保護者の希望で共有できるようにしている。 | | | | | 全職員で共有する。 |
| | 6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 8 | 3 | 0 | 支援会議で発達支援課と連携している。また、支援技術について専門機関での研修を随時受講している。 | | | | | 外部連携について職員会で報告し、全職員に知ってもらう。 |
| | 7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供 | 2 | 7 | 2 | 個別支援の必要な利用児が多く、障がいのない子どもとの交流は出来ていない。中高生のボランティアの受け入れ、交流を行っている。 | 5 | 1 | 3 | 10 | 地域の子どもボランティアサークルの依頼を検討中。 |
| | 8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | 5 | 4 | 2 | 地域資源(出前講座)を使って、親子で参加できる体験会(ゆいねっとStudy倶楽部にて)を行っている。 | | | | | 可能なことを検討する。 |
| 保護者への説明責任・連携支援 | 1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 10 | 1 | 0 | 報酬改定での基本報酬表の配布を行った。 | 18 | 1 | 0 | 0 | |
| | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 10 | 1 | 0 | モニタリング時期と個別支援計画更新時期を合わせ、なるべく会議で説明するようにしている。 | 18 | 1 | 0 | 0 | |
| | 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 7 | 4 | 0 | 毎月、ゆいねっとStudy倶楽部(勉強会)を行っている。個別相談に応じ、助言・援助をしている。 | 14 | 2 | 0 | 3 | ゆいねっとStudy倶楽部の周知の継続。 |
| | 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 10 | 1 | 0 | 送迎時やモニタリング時、支援会議等で情報共有している。 | 17 | 2 | 0 | 0 | |
| | 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 11 | 0 | 0 | 連絡帳を介したり、直接相談を受け、適切に対応している。毎月の便りにも折に触れて相談できる旨を記載している。 | 16 | 2 | 1 | 0 | 困ったことがないか、積極的に保護者に声をかける。 |
| | 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 6 | 5 | 0 | Study倶楽部で、保護者同士意見交換をしたり、一緒に学んだりしている。 | 8 | 1 | 1 | 8 | ゆいねっとStudy倶楽部の周知。 |
| | 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 11 | 0 | 0 | 苦情報告は毎月発行のお便りに記載している。この1年苦情は0件。 | 15 | 1 | 0 | 3 | |
| | 8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 11 | 0 | 0 | 視覚支援を個別に取り入れ、わかりやすい双方向のコミュニケーションを図っている。 | 19 | 0 | 0 | 0 | |
| | 9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 11 | 0 | 0 | 毎月のお便り、活動や行事の写真をプリントアウトして個別に配布している。 | 19 | 0 | 0 | 0 | |
| | 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 11 | 0 | 0 | 個人情報の資料は、職員室内の施錠できる書庫に管理されている。 | 19 | 0 | 0 | 0 | |
| 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 10 | 1 | 0 | 事業所入り口と職員室の見えるところに設置している。 | 18 | 0 | 0 | 1 | | |

